

厚生労働省が「在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会 研修運営ガイド」として案内しているプログラムは以下のとおり。

No	研修項目	時間(分)	形式	必要性
1	在宅医療が果たすべき役割	30	講義	○
2	在宅療養を支える医療・介護資源	15	講義	○
3	<b>医療・介護資源マップの作成</b>	<b>40</b>	<b>演習</b>	<b>△</b>
4	在宅ケアにおいてなぜ「専門職連携協働（IPW）が必要なのか	20	講義	○
5	領域別セッション（認知症、がん緩和ケア）	<b>160</b>	講義・ <b>演習</b>	○
	昼食	(60)	-	-
6	在宅医が知っておくべき報酬や制度	20	講義	○
7	<b>訪問診療の実際と同行研修の意義</b>	<b>20</b>	講義	○
8	在宅医療を推進する上での課題とその解決策（グループ討議）	90	演習	○
9	<b>修了証書授与</b>	<b>10</b>	-	<b>×</b>
10	懇親会	<b>90</b>	-	○

計：555分

時間	研修項目	時間(分)	形式	講師
9:00	開会挨拶/主旨説明/来賓あいさつ	15	-	練馬区責任者
9:15	(1) 在宅医療が果たすべき役割	30	講義	医師
9:45	(2) 在宅療養を支える医療・介護資源	15	講義	練馬区担当者
10:00	(3) 在宅ケアにおいてなぜ「専門職連携協働 (IPW) 」が必要なのか	<b>30</b>	講義	医師
10:30	休憩	15	-	-
10:45	(4) 領域別セッション I (認知症)	45	講義	医師
11:30	(5) 領域別セッション II (緩和ケア)	45	講義	医師
12:15	昼食	60	-	-
13:15	(6) 在宅医が知っておくべき報酬や制度	<b>30</b>	講義	練馬区担当者 (外部コンサル)
13:45	<b>(7) 訪問看護の実際と同行研修の意義 (平成26年度の結果等)</b>	<b>30</b>	講義	訪問看護師/ 練馬区担当者
14:15	(8) 在宅医療を推進する上での課題とその解決策 (グループ討議)	90	演習	医療介護従事者 ※ファシリテーター
16:00	懇親会	<b>60</b>	-	-
17:00	閉会	-	-	-

計：465分